

「海津市地球温暖化防止実行計画」の平成23年度実施結果について

海津市では、「地球温暖化対策の推進に関する法律」及び「海津市環境基本条例」の基本理念に基づき、平成20年度に市の施設を対象とした「海津市地球温暖化防止実行計画」を策定し、地球温暖化防止対策の推進に取り組んでいます。次のとおり、実行計画の概要と平成23年度実施結果をお知らせします。

「海津市地球温暖化防止実行計画」の概要

- ・ 基準年度を平成19年度、計画期間を平成21年度～平成24年度までの4年間としています。
- ・ 対象となる温室効果ガスは、二酸化炭素、メタン、一酸化二窒素の3物質としています。
- ・ 平成19年度の温室効果ガス排出量を基準とし、平成21年度で1.5%削減、平成22年度で3.0%削減、平成23年度で4.5%削減、最終年度の平成24年度で6.0%削減を目指します。

〈平成21年度及び平成22年度実績(表1)〉

年度	削減率目標	排出量実績(kg-CO ₂)	削減率実績	結果
平成21年度	1.5%	9,610,490	3.59%	達成
平成22年度	3.0%	9,764,818	2.04%	未達成

〈平成23年度実施結果〉

市内公共施設の平成23年度温室効果ガス総排出量は、(表2)のとおり平成19年度と比較して約634t-CO₂の減少、削減率約6.4%となり、目標値の温室効果ガス総排出量4.5%削減を達成しました。

この結果は、昨年3月11日の東日本大震災後、原発事故に伴う電力需給低下により、節電への意識が更に高まったことで、様々な節電対策(デマンド装置設置による電力管理の実施、緑のカーテンの実施、クールビズ・ウォームビズの推進と冷房温度(28度)暖房温度(20度)管理の徹底、不要電灯の削減と間引き消灯の実施、電気機器のこまめな電源オフ、一斉定時退庁の実施等)が講じられたことによるものです。

(図1)より、温室効果ガス総排出量の約99%を二酸化炭素が占めていることがわかりました。

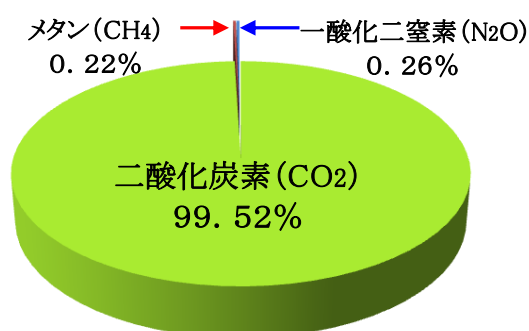
二酸化炭素排出量の内訳を見ると、(図2)より、排出原因の約80%が電気の使用によるものであり、節電対策の推進が特に重要であることがわかりました。

〈平成23年度の温室効果ガス排出量の状況(単位:kg-CO₂)(表2)〉

区分	平成23年度(A)	平成19年度(B)	増減量(A)-(B)	増減率(%)
二酸化炭素	9,289,688	9,934,860	-645,172	-6.49
メタン [※]	20,171	13,813	6,358	+46.03
一酸化二窒素 [※]	24,166	19,660	4,506	+22.92
総排出量	9,334,025	9,968,333	-634,308	-6.36

※メタン、一酸化二窒素の排出量は、二酸化炭素排出量に換算してあります。

平成23年度温室効果ガス構成比(図1)



平成23年度二酸化炭素排出量内訳(図2)

